

# Rural Generalist Program Japan Year 2020 Brief Review



## 4期生9名が研修開始

研修先病院 5 か所（上五島病院 3 名、益田地域医療センター医師会病院 2 名、大井田病院 2 名、匠瑳市民病院 1 名、甕島手打診療所 1 名）  
平均年齢 34 歳 卒後平均年数 9 年



## オンライン説明会「Ask Me Anything」

コロナ禍にオンラインでの研修生のリクルートセッション「Ask Me Anything」を実施。1対1でなんでも聞ける個別相談会&プログラム説明会を23回実施。5期生11名の研修生が決定！



## 甕島にて新たなチャレンジ

鹿児島県薩摩川内市と「地域医療体制構築に関する連携」を結び、代表の齋藤と卒業生の室原（2期生）が二人体制で下甕島の手打診療所に赴任。地域でのニーズに応え、教育の機会を提供し、持続可能な体制づくりに向けたチャレンジがスタート！



## 日本、そして世界へ！

RGPJのプログラムについての論文「Development of the Rural Generalist Program Japan: meeting the needs of Japanese rural communities」がRural and Remote Healthに掲載される（7月）

代表 齋藤学のプログラム立ち上げまでの記録『へき地医療をめぐる旅—私は何を見てきたのだろうか』が出版される（8月）



## ACRRMとの覚書の締結

オーストラリアへき地医療学会（ACRRM）との間において、相互協力および協調発展に関するMOU（覚書）を締結。ACRRMが日本の組織を相手に結ぶ初めてのMOUとなる。

